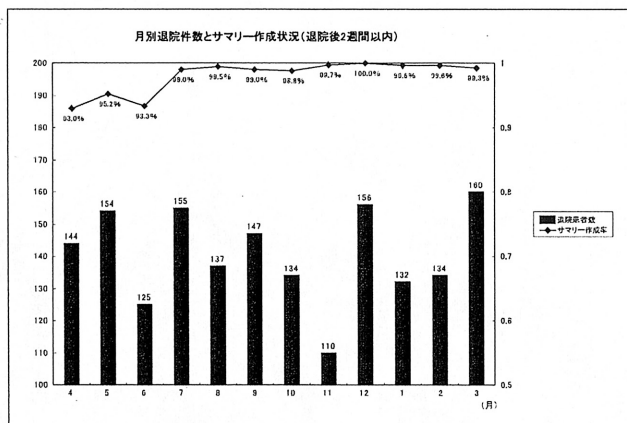


2009年度の診療情報管理室は昨年と変わらずスタッフ2名(専任1名・医事室長兼務1名)で業務を行った。年度始めから医事システム変更に伴う病名移行の作業及び電子カルテでの退院サマリー作成の整備等を行った。

また、年度末に北側書庫に保管していた国立三角病院時代の入院カルテ・フィルム及び外来フィルムの廃棄処分を専門業者に依頼し行った。

### 1. サマリー作成率

2009年度のサマリー作成率は平均で99.3%となり昨年度より0.2%上がっている。電子カルテ上での作成に変更になったが診療部の協力で高い作成率を維持できた。



### 2. 退院患者疾病統計

2009年度は退院患者数が前年度に比べ約7%減少した。疾患の割合は、消化器系の疾患が18.7%と一番多く次に循環器系の疾患(脳血管系疾患を含む)が17.0%、三番目が損傷中毒およびその他の外因の影響で15.2%となった。

毎月の診療連絡会議で前々月の退院患者疾病統計を報告した。

ICD大分類	2006	2007	2008	2009
1 感染症及び寄生虫症	77	72	60	40
2 新生物	213	214	223	227
3 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	15	18	26	14
4 内分泌栄養及び代謝疾患	55	55	81	41
5 精神及び行動の障害	26	9	4	23
6 神経系の疾患	35	37	30	36
8 耳及び乳様突起の疾患	1	11	10	16
9 循環器系の疾患	270	283	290	287
10 呼吸器系の疾患	205	186	215	174
11 消化器系の疾患	257	294	295	315
12 皮膚及び皮下組織の疾患	16	18	27	14
13 筋骨格系及び結合組織の疾患	39	52	92	67
14 尿路器系の疾患	114	76	99	84
17 先天奇形変形及び染色体異常	0	0	0	1
18 症状徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	127	78	93	66
19 損傷中毒及びその他の外因の影響	215	262	235	257
21 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	41	34	43	26
合計	1,706	1,699	1,823	1,688

### 3. 宇城市MRI脳検診

2005年度から宇城市の委託を受けMRI脳検診を実施している。当院での受診者は過去5年間で2,983名となった。昨年までは熊本病院へMRIの画像を転送し読影を依頼していたため受診者への結果発送まで日数を要したが、今年度から脳外科医が常勤となったので迅速に結果報告書の発送ができた。電子カルテ上での報告書作成のシステムを構築した。

結果	年度	2005	2006	2007	2008	2009	合計
1 異常なし		616	724	565	165	128	2,198
2 異常所見軽度		178	249	137	29	61	654
3 要経過観察		1	8	2	5	9	25
4 要再検		3	3	2	5	3	16
5 要精検		11	5	18	11	16	61
6 要治療		1	6	9	0	1	17
7 脳外科受診		3	1	4	3	1	12
合計		813	996	737	218	219	2,983

### 4. 宇城市乳がん検診

2009年度は国の特別事業として乳がん検診が各市町村で実施された。当院は宇城市から委託を受け触診とマンモグラフィ2項目での乳がん検診を実施した。9月から翌年2月まで計34名の受診があった。

### 5. カルテ開示

2009年8月に1件、カルテ閲覧及び医師の説明によるカルテ開示を行った。2006年に救急外来にて死亡の方で開示の請求者は対象者の妻であった。